

## 120802 標高 1,000mの「ちはや園地」では

このところ、金剛山頂に近い標高 1,000mのクールスポット「ちはや園地」においての撮影写真を中心に紹介していますが、今回も7/28(土)にそこで出会った生きものの中から、花に集まってきたチョウたちなどを選んでみました。

### 写真 : アサギマダラとイカリモンガ

仲良く、「クガイソウ」の蜜を吸っていました。

### 写真 : イカリモンガ

クガイソウの花で2匹仲良く食事中。  
以前にも紹介しましたが、この種は極めてチョウチョに近い「ガ」です。  
今回、この種の個体数は多かったです。

### 写真 : アサギマダラ

優雅に風に乗って舞っている姿をあちこちで見ることができました。  
この個体は、クガイソウの蜜を吸っているところです。

### 写真 : ヨツスジハナカミキリ

ハチに擬態して身を守っている、小型(体長2cm弱)のカミキリムシです。  
ナツツバキの花粉を食べていたところ、アシナガバチが飛んできたので、少しあわてているようでした...  
(無断で、擬態のモデルにさせてもらっていることがバレたら非常にまずい...とか考えているのでしょうか?)

### 写真 : サカハチチョウ

やはり、クガイソウの蜜を求めてやってきたようです。

### 写真 : スジグロシロチョウ

同じく、クガイソウの蜜を求めてやってきたようです。  
近くに交尾中のペアもいました。

### 写真 : ヒメキマダラヒカゲ

本州では標高 1,000m以上のササ類の生える樹林地に生息している種ですので、大阪府域で姿を見ることができるのは、金剛山頂付近くらいかも知れません。

大阪府 RDB では「準絶滅危惧種」となっています。

### 写真 : クロヒカゲ

樹林内や林縁部の薄暗いところを好む種です。

この個体は、日の当たる場所で羽を広げて日光浴をしているみたいでした。

### 写真 : ルリシジミ

前翅長は 2 cmに満たない小さなシジミチョウです。

林の周囲をせわしなく飛んでいることが多く、地面で吸水したり、花で吸蜜する姿を見かけることもよくあります。

比較的個体数が多く、出現期も春先から晩秋までと長いので、目にされた方も多いと思います。(人家周辺にもいます)

### 写真 : ギンモンスズメドキ

木の幹で、何とも不思議な形の生きものを発見!

スニーカーのようにも、アイロンのようにも見えてくるのです。

図鑑で調べてみると「ギンモンスズメドキ」という、シャチホコガの仲間の「ガ」でした...

































